

許多ノ時日ヲ費シ現地施行ノ季節ヲ
相失シ不都合少カラサルニ付府縣同
一ノ處分ニ難相成勿論百事御委任ノ
地方ニ候條從前ノ通取計置追テ精算
仕上帳ヲ以テ同省ヘ差出申度候間至
急御許容被成下度此段奉伺候也

明治七年四月廿日

開拓次官黒田清隆

伺之通

太政大臣 寺島寬美殿

明治七年四月二十日



甲子拾之号

御雇外國人増給伺

當使附屬矯龍丸船長御雇米人アルフ
レドウエルソニ一箇月給料洋銀百五十弗
宛渡來候處職務勉勵致シ船中取締
方行届候ニ付當使定額金ノ内ヲ以
來ル五月一日ヨリ一箇月金貳百圓
ニ増給仕度且右矯龍丸出帆差臨居
候間至急御指令有之度此段奉伺候
也

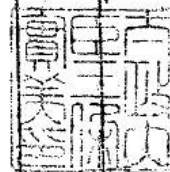
明治七年四月廿九日 開拓次官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

何之趣聞届候事

但大藏省へ其便より通達可致事

明治七年五月十二日



甲第十四号

保任社廢止ノ儀伺

當使附屬汽船北海丸ヲ以東京
大坂函館ノ間海上難破濡損請
負並荷為換貸金等ノ方法ヲ設
ケ基本金ヲ交付シ用達榎本六
兵衛等へ申付昨年五月以來保
任社開業為致置候處今般詮議
ノ次第有之廢社申付候條一般
ニ御布告相成候様仕度別紙艸